

# 整備機器

## 新商品

### 小野谷機工(株)

#### 乗用車用タイヤチェンジャー 「プロステージ NPS-227」

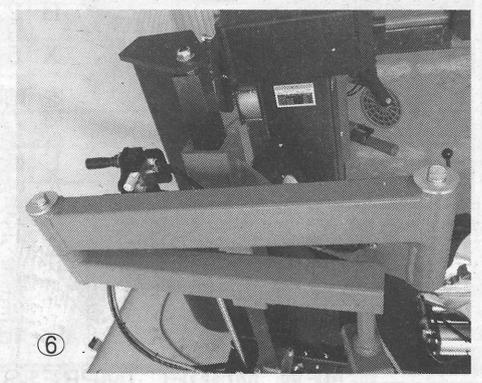
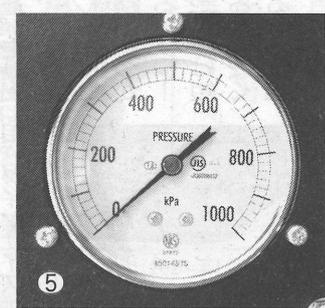
# 新シリーズ「NPS」をラインアップ

器で伝統的な配色を継承している。それに対して「NPS-227」が本体のカラーリングに採用したのはマットブラックだ。カバーやサポートアームはレッドとし、配色を入れ替えた。

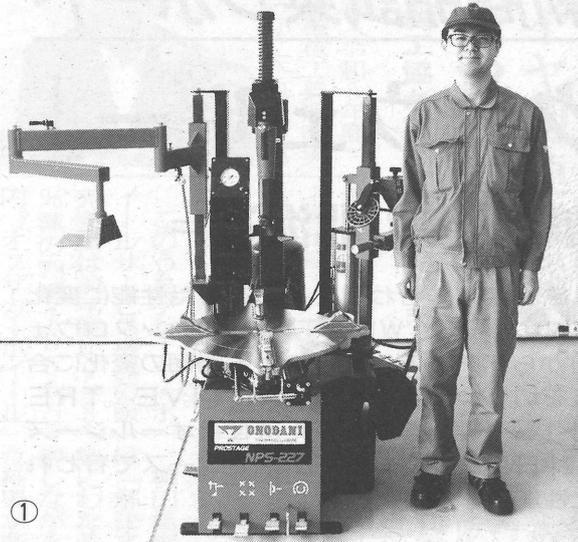
竹内さんは「輸入車を多く取り扱うピットでは、外観上の見映えを重視する傾向が強い。そのようなピットにマッチすべく、落ち着きがあり高級感をイメージさせるマットブラックを本体のカラーリングに採用しました」と、その意図を語る。金属部分も素材そのままではなく、シルバーマット加工を施しているという。

職場環境の改善の一環として建物の採光に工夫をこらす。またLED照明が普及したことから、明るいピット作業場が増えてきた。そのような変化に対応し、タイヤ整備機器でも「見せる」ことは重要。「NPS」シリーズはタワー(支柱)やピドブレイカー、タイヤ空気圧メーターといった本体各部の基本色をマットブラックと色をマットブラックとでは、外観上の見映えを重視する傾向が強い。そのようなピットにマッチすべく、落ち着きがあり高級感をイメージさせるマットブラックを本体のカラーリングに採用しました」と、その意図を語る。金属部分も素材そのままではなく、シルバーマット加工を施しているという。

従来のシリーズから基本性能を高めたのも「NPS-227」の特徴だ。採用する部品を吟味し、スベックアップを図った。たとえばテーブル板のチャック爪もその一つ。「エクシードイオタ」シリーズと同様、新形状を採用した。竹内さんは「従来よりも高い位置で固定することでクリアランスを確保



「PROSTAGE(プロステージ)」は、小野谷機工の乗用車用タイヤチェンジャーのスタンダード機種。「PSR」シリーズとして、ベーシックモデルからレバーレス作業対応のフルスペックモデルまで、ラインアップを豊富にそろえる。タイヤ取扱店への来店客層をはじめ、ピットスタッフが作業時に重視するポイントや「こだわり」に的確にミートし選択することが可能だ。その「プロステージ」に、新たに「NPS」シリーズを加えた。商品開発本部サービス機器開発部の竹内優作さんは「商品名は『ニュープロステージ』を意味します」と解説する。

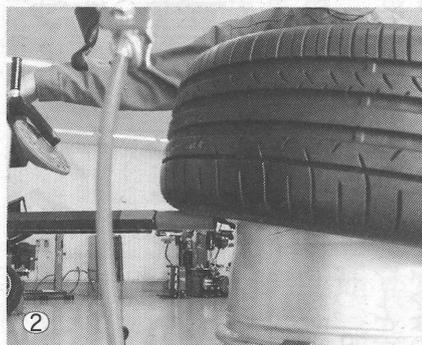


「プロステージ」NPS-227は、この9月から新発売する。従来の「PSR」シリーズと最も異なるのがカラーリングだ。「PSR」シリーズは本体カラーに深みのあるレッドを採用。カバーやサポートアームは艶(つや)のあるブラックとし、配色を引き立たせる。これは乗用車用タイヤチェンジャーのフラッグシップブランド「EXCEED Iota(エクシードイオタ)」シリーズでも同様。タイヤ整備機

# カラーリング一新。ベース性能向上

ラックを本体のカラーに採用しました」と、その意図を語る。金属部分も素材そのままではなく、シルバーマット加工を施しているという。職場環境の改善の一環として建物の採光に工夫をこらす。またLED照明が普及したこ

は、素材も強化プラスチックからスチール製へと変更した。ペダル操作で靴のつま先が当たることがあるので頑丈なつくりにしたという。「これまでのオノダ」部には物入れを標準で配置した。「作業中に小物類をちょい置きするときに便利なラックです。作業の流れを中断しなくて済みますし、



「NPS-227」は「プロステージ」の新シリーズ第一弾。レバー作業を前提に開発設計し、機器をつくりこんだ。各部のスペッ

①

②

③

④

⑤

⑥

(写真)①本機と竹内さん ②新形状のチャック爪でピド

アップローラーの差し込みが容易に ③レバーを使った作業 ④サ

ポートツールで省力化を実現 ⑤ダイヤルゲ

ージタイプのエアメー

ター ⑥コンパクト収

納の左側アーム